

3/11

おけいこの成果に拍手喝采!

筑紫野市シニアクラブ連合会おけいごと発表会

筑紫野市シニアクラブ連合会女性部主催、恒例のおけいごと発表会がカミーリヤ内の老人福祉センターで開催されました。出演者の皆さんの応援や晴れ舞台をひと目見ようと200人以上が来場しました。

約30の詩吟、カラオケ、踊りなど、日頃稽古を重ねた演目が次々と披露され、会場からは歓声や拍手喝采、楽しく和やかな雰囲気にもまれていました。



熱演・熱唱が続きました

3/10

国防の任務へ、決意新たに

自衛隊入隊・入校予定者激励会

自衛隊員の家族などで構成する筑紫野市自衛隊家族会が主催する、平成31年度の自衛隊入隊・入校予定者の激励会が文化会館で行われました。

筑紫野市出身の先輩自衛官からアドバイスを受け、防府駐屯地に入隊する寺岡 優輝さんは「社会では未熟者であり、しばらくは皆さんに心配をおかけしますが、一生懸命頑張ります」と決意を話していました。



入隊・入校予定者代表として決意表明をした寺岡 優輝さん

3/11

東日本大震災発生から8年。防災・減災への思いを新たに

東日本大震災筑紫野市追悼式・復興祈念式



▲犠牲となられた方々に黙とうを捧げる参加者

東日本大震災筑紫野市追悼式・復興祈念式



▲「震災の記憶を未来へ」とあいさつする藤田市長



▲現地での体験を報告する山上司令補

東日本大震災の発生から8年が経過したこの日、市役所前ふれあい広場において追悼式・復興祈念式を挙行了しました。市議会やコミュニティ運営協議会、市消防団、市職員、消防本部職員が参加しました。

東北地方太平洋沖地震の発生時刻である14時46分にはサイレン吹鳴とともに犠牲となられた方々に黙とうを捧げました。

藤田市長は「震災の記憶を風化させること無く、未来へと伝えていかなければなりません」とあいさつを行いました。

また、筑紫野太宰府消防本部の山上 保則司令補から震災発生直後に緊急消防援助隊として宮城県亘理(わたり)郡亘理町に派遣さ

れた際の現地での活動について報告があり、「あのような悲惨な光景は初めてでした。現場を見たからこそ伝えることができる、防災・減災を訴えていくことが自分の使命。市民の皆さんの安全・安心を守るためにも自助・共助について訴えていきたいです」と話しました。

ちくしのクリップ

3/23

ちからをあ
力を合わせて
やくほんしよくじゆ
約600本を植樹

筑紫野経済同友会 あじさい園植樹

天拝公園内の「あじさい園」は、筑紫野経済同友会が中心となり市議会、商工会などとボランティアで整備を行っています。この日は約30人と二日市中・天拝中の生徒13人の協力を得て、新たに620本を植樹しました。

経済同友会会長の黒田 修司さんは「今年は倍に近い本数を植えることができたので、ぜひ見に来てください」と話し、二日市中生徒会長の八波 りおさんは「みんなで頑張って植えたのできれいに咲いて欲しいです」と話していました。アジサイは6月から見頃を迎えます。



筑紫野経済同友会の皆さんと協力して苗を植える生徒の皆さん

3/26

ちいきまもあら
地域を守る新たな拠点

筑紫野警察署 天拝交番落成式

西鉄朝倉街道駅前にあった筑紫野警察署の針摺交番は昭和46年の落成以来、48年にわたり地域の治安維持に努めてきました。この度、老朽化に伴い、イオンモール筑紫野前に移転。名称を天拝交番に改め生まれ変わり、この日、落成式が行われました。

交番で勤務する竹邊交番係長は、「交通量が多い地域のため、交通指導に力を入れるとともに、地域に密着する交番を目指します」と決意を話していました。



決意表明をする竹邊交番係長と交番員の皆さん

3/15

かゆは
お粥に生えたカビで占う

筑紫神社 粥占祭

市内原田の筑紫神社にて、市指定無形民俗文化財の「粥占祭」が行われました。この行事は、毎年2月15日に炊いた粥を銅鉢に盛り、箱に収めて、1カ月後の3月15日に取り出してカビの生え方で農作物などの吉兆を占うものです。銅鉢には文化2(1805)年と銘があり、200年以上続いていると考えられています。今年の粥にもびっしりとカビが生え、6人の判断委員により稲作「中」などから全般判断は「中」とされました。



粥の中心を筑紫神社とし、東西南北に生えたカビで占います

3/15

きょうどまもつづ
郷土を守り続ける姿勢が
評価される

筑紫野市消防団 山崎団長が永年勤続功労章受章を報告

筑紫野市消防団の団長を務める山崎 博さんが消防功労者消防庁長官表彰にて永年勤続功労章を受章しました。この功労章は消防団員として25年以上の勤務経験があり、特に模範となると認められる人に与えられるものです。

山崎団長は「先日、無線を使う訓練を行ったところ、実際に出勤した際に役立ちました。訓練を重ね、体で覚えることを大切に、各分団のスキルの底上げをして地域を守っていきたいです」と話してくれました。



藤田市長に報告をした山崎団長(左)